

進捗状況の概要

平成 27 年度は、「やまぐち未来創生リーダー（YFL）育成プログラム」（以下「YFL 育成プログラム」という）の構築や地元への就職支援の推進に向けた準備期間と位置付け、事業実施体制の整備、YFL 育成プログラムの試行、SD・FD や事業成果報告等について、以下の事業等を実施した。

○事業運営に係る会議の開催及び実施体制の整備

- ・最高意思決定機関として「やまぐち地域創生ネットワーク会議」を、教育プログラムの開発など事業の実施に係る実質的な検討を行う場として「YFL 育成プログラム開発等委員会」を設置。さらに、山口大学の学内に各部局代表者により構成する「COC+事業推進委員会」を設置し、学内体制を整備。また、山口県を含む県内全自治体と高等教育機関において、『「やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業」の実施に関する協定書』協定書を締結。
- ・平成 27 年 11 月に、キックオフ会議の名目で「やまぐち地域創生ネットワーク会議」を開催。
- ・申請大学に COC+事業本部を設け、企業対応・学生支援等の役割に応じ、統括コーディネーター、学生キャリア教育コーディネーター、地域産学連携コーディネーターを配置。さらに、COC 大学である山口県立大学、徳山大学にはサブコーディネーターを配置し、事業協働機関間の連携を強化。

○YFL 育成プログラムの構築準備

- ・「YFL 育成プログラム開発等委員会」を 3 回開催。カリキュラムの構成、読替科目の確認、評価の可視化の在り方、ルーブリックの作成等について検討を実施。参加高等教育機関間の共通理解を図るとともに、単位互換のための協定書を締結。
- ・同委員会等を通じ、E ラーニングコンテンツの作成を含む平成 28 年度と同プログラムの実施方法などを確認。これを踏まえ、数種類の E ラーニングコンテンツ作成機器を比較・検討し、据え置き型（教室に固定で設置）を 2 台、可搬型のものを 4 台購入し、平成 28 年度の YFL 育成プログラム本格実施に向けて、E ラーニングコンテンツを蓄積するための環境を整備。
- ・平成 28 年 2 月に、「YFL 育成プログラム」の 200 番台科目（合同合宿型授業）の試行版として、「ミニ移動大学 in 周防大島」を実施。地域貢献への意識を持った学生を育てることを目的とし、学生と地域住民がフィールドワークや相互交流を通して、地域課題の解決に取り組む授業を展開。地元住民からの協力を得たほか、事業協働機関である周防大島町とも連携体制を構築。

○就職支援

- ・平成 28 年 1 月に、県内の企業や自治体などで働く若手の社会人と学生が、山口県で「働く・暮らす」をテーマに語り合うことを目的とした対話の場として、フューチャーセッション「未来カフェ」を実施。
- ・平成 28 年 3 月に、県内企業の知名度を上げ、それぞれの会社の魅力をより確実に学生へ届けることができるような採用活動のレベルアップと採用力の向上を図ることを目的として、事業協働機関の企業等の新卒採用担当者を対象に、「採用力向上セミナー」を実施。
- ・地元企業、自治体などの求人ニーズやインターンシップ受入れ時の希望と学生の能力や希望する就職先などのマッチングを行い、学生と企業等間のミスマッチを防ぐためのシステムである「やまぐち就職支援マッチングシステム」について、基本設計の検討などを行い、当該システムの構築に着手。
具体的には、山口大学が学生の能力の可視化を目的に独自に開発した評価システム（YU CoB CuS）の考え方を参照しつつ、システムに必要なデータ項目の抽出や評価方法の在り方、企業が求める能力の検討等を行い、基本的なシステムの設計を実施。
- ・今後の就職支援に向けて、山口県インターンシップ推進協議会、山口労働局等との協議を実施。
- ・就職未定者への支援に向けて、事業協働機関、山口大学内のヒアリングを実施。

○その他事業推進に向けた取組み

- ・COC+コーディネーターを中心に、事業終了後の定着も見据え、事業協働機関（民間企業）を当初の 18 社から 100 社程度に拡充することを目標とし、県内企業を直接訪問。事業の趣旨説明を行いつつ、さらに連携体制を強化していくことについて、協力を依頼。優秀な人材を継続的に地域に供給できるよう、それぞれの企業と活発な意見交換を実施。
- ・平成 28 年 2 月に、地方創生を支える人材をどのように育成し、大学として地域へ貢献していくためにどのような行動ができるかについて、外部講師による基調講演やパネルディスカッションなどをプログラム内容として盛り込んだ「FD・SD セミナー 2016」を開催。
- ・平成 28 年 3 月に、平成 27 年度の事業実績報告として、「ミニ移動大学」等の事業に参加した学生による事業報告、事業協働機関（高等教育機関、自治体、民間企業）によるパネルディスカッションなどをプログラム内容として盛り込んだ「やまぐち地域共創フォーラム」を実施。
- ・事業概要や事業協働機関からの情報提供、27 年度の事業報告、学生や保護者へのメッセージ等を盛り込んだホームページを開設するとともに、学生への教育プログラム履修のための広報用リーフレット等を作成し、平成 28 年度入学生への合格通知に同封するなど、広報活動を推進。
- ・COC+事業の実施状況や実施内容の妥当性などについて、ヒアリング調査等による自己評価を行うための内部評価、自己評価書に基づき COC+事業の成果等に対する評価を行うための外部評価に関して、それぞれの評価委員の候補者を選定。また、平成 27 年度事業報告書を作成した。

（COC+大学名：山口大学、事業名：やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業）